

東濃地科学センター（東濃鉱山）

施設管理者 : 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター

施設所在地 : 岐阜県土岐市泉町定林寺 959-31

調査見学期 : 平成 12 年 11 月 11 日

施設概要

旧通産省地質調査研究所のウラン鉱床の路頭発見に基づき、昭和 40 年に原子力燃料公社が東濃探鉱事務所を開設したことに始まっている。

場所 岐阜県土岐市泉町河合字賤洞
1221-8

位置 北緯 35 度 23 分 03 秒

東経 137 度 13 分 08 秒

面積 鉱山敷地面積 16,070 m²

(うち MGLAB:(株)日本無重量
総合研究所 2,746 m²)

坑口標高 海拔 285m

坑道の深さ 130m

坑道の総延長 1,300m



東濃鉱山は、日本で最大のウラン鉱床である月吉鉱床に位置しており、昭和 47 年から月吉鉱床に調査坑道を掘削し、月吉鉱床の探鉱、採鉱技術開発などを行ってきた。昭和 61 年からは、地層科学研究（地下の岩石や地下水の研究）を開始し、月吉鉱床の形状、成因の調査等を引き続き行っている。

現在は核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センターとして、

東濃鉱山における調査試験研究：東濃鉱山の坑道を利用した堆積岩の地質環境特性調査

広域地下水流動研究：一つの地下水系と考えられる範囲（東濃鉱山を含む地域の場合、約 10km 四方）の地下水の流れなどに関する全体的調査

超深地層研究所計画：超深地層研究所の地下千メートル程度までの花崗岩の地質環境特性に関する詳細な調査

が推進されている。